

様式第6号(第2条関係)

委員会等の会議録

1	会議名	第3回愛南柑橘営農環境改革推進協議会	
2	議題	(1) 柑橘加工施設整備等意向調査業務の報告 (2) 平成30年度活動実績と今後の計画について (3) その他	
3	開催日時	平成31年3月11日(月) 13時30分から16時00分まで	
4	開催場所	愛南町役場本庁 2階 第一会議室	
5	傍聴者数	0人	
出席者			
6	委員氏名	吉村 克己、河野 仁、小野山 純平、原田 和生、酒井 眞理子、山本 哲也、尾崎 行弘、山田 聡、松田 昌治、西崎 梅一、木村 勝彦、藤田 重徳、永井 伊秀	
7	担当所属	所属名	農業支援センター
		担当職員 (職・氏名)	係長 清水 貴光
		所属名	農林課
		担当職員 (職・氏名)	課長補佐 山本 正文、係長 近平 高宜
8	その他の出席者	所属名	愛媛県南予地方局 産業振興課 産地育成室
		出席者 (職・氏名)	専門員 玉井敬久
		所属名	愛南農業指導班
		出席者	担当係長 橋岡 源宗
		所属名	株式会社 IRC
		出席者	黒田 明良、土岐 博史
議事内容(次ページから)			

発言者	発言内容
山本補佐 (議長代理)	<p>(開会あいさつ) (協議会要綱、規定により、山本課長補佐が議長となる。)</p> <p>新しくマルエムフルーツアイランドの共選長に尾崎委員が就任されました。紹介を兼ねてご挨拶をお願いします。</p>
尾崎委員	(挨拶)
山本補佐 (議長代理)	議題(1)柑橘加工施設整備等意向調査業務の報告を、IRC から説明してください。
(株)IRC) 土岐	「資料により柑橘加工施設整備等意向調査業務を報告」
山本補佐 (議長代理)	委員の皆さんご意見があればお願いします。
(株)IRC) 土岐	加工施設を造るのを急ぐのではなく、課題を整理しながら進めていくことが大事だと思います。その実現にはプロジェクトチームが肝となってくる考えています。
小野山委員	やる気のある人を集めてしていこうということですか。
(株)IRC) 土岐	そう考えています。
小野山委員	生産者が減り始めている状況の中で、加工施設を整備することの意義をどのように考えていますか。
(株)IRC) 土岐	<p>アンケート結果で、10年後には生産者が半減している可能性があります。柑橘産業の底上げには、新たな取り組みが求められていることも間違いないと思います。</p> <p>加工施設の整備には、加工施設整備を手掛ける港産業の話では、計画から実際に整備されるまでに3~5年かかります。解決すべき課題もある中で、整備ありきではいけません。整備に向けた検討を具体化させていくことは、早い方が良いと思います。</p>

木村委員	加工施設がどのくらいの規模ならば、採算が確保できるものでしょうか。
(株)IRC) 土岐	アンケート結果で、新しい加工施設に最大 541 トンの持ち込みが見込めます。その規模は、三瓶の潮彩館や伊方のクリエイト伊方とほぼ同規模です。取材で聞いたところ、それら 2 つの施設ではランニングコストは賄えているようです。建物や設備などのインシヤルコストは除きます。
木村委員	<p>知人が 3 年前からジュースの販売を始めました。今では銀座シックスでも販売しています。猫のイラストが得意なデザイナーと組んで、ラベルや包装紙にもこだわったことでヒットしました。</p> <p>近隣で小瓶での搾汁をしてくれるところがありません。久万高原の搾汁施設では小瓶対応してくれていますが、大きな加工施設ではありません。</p> <p>加工施設ですぐに利益を確保することは難しいと思います。何年後かスパンで計画的に利益が確保できる体質にしていくという考えが大事だと思います。</p>
(株)IRC) 土岐	そう思います。ですから、報告書の今後の方針で、複数パターンのシミュレーションをした方が良いとしています。
吉田委員	えひめ飲料では、機能的食品への需要の高まりもあって、原料としての河内晩柑がひっ迫しているという話もあります。加工施設を整備する議論を加速させていく必要があると思います。
西崎委員	<p>運営スタッフを決めないと、いつまでも議論で終わってしまう可能性があります。具体的に検討する人員体制が必要だと思います。</p> <p>報告書の今後の方針の文言で「啓蒙活動」という表現があります。適切な表現ではないので「啓発活動」にするべきでしょう。</p>
木村委員	スモールスタートとはどのようなイメージなのですか。
(株)IRC) 土岐	今、具体的に示すことができる金額や形はありません。ただ、

	<p>今後の課題解消の検討を重ねる中での考え方やイメージとなるものです。検討を重ねる中で、スモールスタートの具体像が決まってくるものと思います。</p>
木村委員	<p>加工後の残渣はどうする考えでしょうか。</p>
(株)IRC 土岐	<p>潮彩館（三瓶）やクリエイイト伊方（伊方）では、産業廃棄物としてお金を払っていました。一方、愛工房では農業の肥料、畜産や水産物のエサとして、専門業者に買い取ってもらっているようです。残渣がコストではなく、収益になっています。</p> <p>河内晩柑では、効率性や機能性も考えると、果皮の活用を前提とした方が良く考えています。残渣が発生しても、それがお金なる仕組みを考えていくべきだと思います。</p>
木村委員	<p>残渣を買い求める動きは割とあるものなのではないでしょうか。</p>
(株)IRC 土岐	<p>買ってもらえるところを探す必要があると思います。</p>
松田委員	<p>運営スタッフとして、地域おこし協力隊に頑張ってもらうのが良いのではないのでしょうか。誰かが陣頭指揮をとらないと話が進まないと思います。</p>
近平係長	<p>今回の調査の収穫として、新しい加工施設への持ち込み可能量が 500 トン程度であること、希望する買取価格が 50 円/kg であることです。</p> <p>あと、あくまでも個人的な見解ですが、スモールスタートとして新たな施設をゼロから造るのではなく、既存施設等の活用する方法もあると考えています。また、プロジェクトチームを地域おこし協力隊を中心に展開するというのもありだと考えています。</p>
山本補佐 (議長代理)	<p>議題(2)平成 30 年度活動実績と今後の計画について、事務局より説明してください。</p>
近平係長	<p>「資料により活動実績と今後の計画を説明」</p>
自由意見	<p>[PR 動画についての意見]</p>

<p>小野山委員</p>	<p>PR 動画で、最後のシーンが短すぎて文字が認識しづらいです。もう少し長めにした方が良いと思います。</p> <p>CATV などで放映するのでしょうか。</p> <p>大人感を強調する意図ですが、全体的にかわいい感じで仕上げっており、意図することと仕上がりに違和感があると思います。</p> <p>愛南ゴールドの特徴について、説明文を入れないのでしょうか。</p> <p>文字が出ると目が行くのでメッセージ性があります。</p> <p>最後のシーンでの愛南ゴールドの文字が目立たないです。</p> <p>[来年度の計画についての意見]</p> <p>セミナーでの講師候補として、瀬戸ジャムズガーデンの社長、日本農業遺産に絡む話、愛媛大学の柑橘イノベーションセンターの先生を招くのも良いかもしれないです。</p> <p>玉津でのセミナーであった JA 山口の方の話は面白かったです。</p>
<p>小野山議長</p>	<p>[あいなん農林業ネットについての意見]</p> <p>コンテンツをもう少し工夫した方が良いと思います。もっと興味を引く説明や画像があれば良いと思います。</p>
<p>吉村議長</p>	<p>加工施設について前向きに作ろうと考えています。これから運営方法、規模感など具体的な検討に入っていきます。生産者がどのようなものを望んでいるのかを踏まえて、使っていただける施設にすべく考えていきます。来年からは本腰を入れる年になります。皆様にはご意見を頂戴したいと考えております。</p>
<p>吉村議長</p>	<p>(閉会あいさつ)</p> <p>貴重な意見ありがとうございます。これをもって第3回愛南柑橘営農環境改革推進協議会を閉会したいと思います。</p>